

平成 28 年（2016 年）2 月 8 日
企画振興部総合政策課
（課長）関 昇一郎
（担当）小池 広益・北澤 浩
電話：026-235-7014（直通）
026-232-0111（内線 3720）
FAX：026-235-7471
E-mail：seisaku@pref.nagano.lg.jp

地方事務所長からの
施策提案への対応状況
（平成 28 年度当初予算案等）

長野県

平成28年（2016年）2月

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
佐 久	水素を活用した 防災機能の強化 と観光振興 ～来るべき水素 社会に向けて～	佐久合同庁舎にスマート水素ステーション（SHS）と燃料電池自動車（FCV）を設置し、災害時等の緊急電源として活用するとともに、SHSを活用した佐久地域の観光振興を図ります。	<p>※^①は新規事業</p> <p>※< >内は平成 28 年度当初予算案又は平成 27 年度 2 月補正予算案（国補正対応分）計上額（単位：千円）</p> <p>佐久合同庁舎へのスマート水素ステーション等の設置については、費用対効果や企業との連携など、さらなる検討が必要と考えます。</p> <p>なお、水素社会の実現に向けた取組については、「長野県温暖化対策次世代自動車推進協議会」で研究していきます。</p>	環境部 環境エネルギー課
上 小	広域連携による 移住者増に向けた取組 ～「広域型短期 おためし滞在」 の実施～	現在入居者のいない県の職員宿舎を移住希望者に貸し付け、移住の適地探しの活動拠点としてもらうとともに、市町村やNPO等と連携し、様々な情報の発信や交流の拠点施設として活用します。	適地探しのためのお試し滞在施設については、市町村やNPOなどが実施している施設との役割分担の整理や受入れ後のサポート体制の整備、他県における事例研究などさらなる検討が必要と考えます。	企画振興部 地域振興課
上 小	サラリーマン団 員の確保促進 ～消防団活動 応援減税制度の更 なる拡充～	「消防団活動応援減税」制度を拡充し、法人事業税に加え納税義務者が多い法人県民税（均等割）を減免するとともに、申請書類を簡素化することにより、消防団協力事業所の増加を図り、団員が活動しやすい環境を整備します。	消防団活動協力事業所応援減税制度については、本年度、資本金要件の撤廃等の見直しを行ったことから、その効果を検証した上でさらなる制度の見直しの必要性を検討します。	危機管理部 消防課
諏 訪	諏訪湖環境改善 推進事業 ～「シジミが採 れる諏訪湖」「泳 ぎたくなる諏訪 湖」を目指して ～	<p>貧酸素対策に係る実証実験を行うとともに、ヒシの除去対策を拡充するなど、諏訪湖の環境改善を推進します。</p> <p>○シジミが採れる諏訪湖再生手法検討事業の拡充</p> <p>○貧酸素対策に係る実証実験</p> <p>○ヒシの除去対策の拡充</p> <p>○植生水路による水質浄化</p>	<p>諏訪湖再生手法の検討については、下記の事業の中で対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖環境改善検討事業 <89, 103> <p>また、機械力による貧酸素の改善手法については、現時点では知見がないため、上記事業の中で専門家による検討を行います。</p> <p>なお、ヒシの除去、植生水路による水質浄化については、下記の事業の中で対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖環境整備事業 <75, 000> 	環境部 水大気環境課 建設部 河川課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
諏 訪	「諏訪湖周サイクリングロード」を活かしたまちづくり～NAGANOモビリティの実現に向けて～	「健康」「スポーツ」「環境」「観光」の4つの観点で、豊富な観光資源が立地する諏訪湖周に安全・安心なサイクリングスペースを整備し、利用者の増加と満足度の向上と、周遊・滞在型観光地への転換を図ります。 ○サイクリングスペースを備えた諏訪湖周道路の整備 ○楽しくサイクリングができる環境整備	※ 新 は新規事業 ※< >内は平成28年度当初予算案又は平成27年度2月補正予算案(国補正対応分)計上額(単位:千円) 諏訪湖周道路の整備については、「歩こう!走ろう!観光地の歩道グレードアッププラン」に位置付けて、下記の事業の中で対応します。 ・県単交通安全対策(一種)事業 <5,000> また、サイクリング環境の整備については、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう、助言・情報提供を行います。	建設部 道路管理課 観光部 山岳高原観光課
上伊那	広域的な公民連携による上伊那の景観づくり	民間の取組と連携し、原風景が広がる広域農道をモデルライン「伊那谷風土記街道」としたブランドイメージづくりのため、リニア中央新幹線開通を見据えた持続的な施策環境の創出を図ります。 ○市町村の景観計画策定、計画等周知支援 ○優良看板設置、集合化等修景促進支援	市町村の景観計画の策定については、助言・情報提供により支援し、景観行政団体への移行を促進します。 また、優良看板の設置等については、上伊那地域独自の取組である「上伊那景観協議会」立ち上げの動きがあることから、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう、助言・情報提供を行います。	建設部 都市・まちづくり課
上伊那	上伊那地域の特性を活かした滞在型観光の推進	南・中央アルプス(山岳高原)、多彩な農産品等、上伊那地域の特性や魅力ある資源を活かした滞在型観光を創出し、観光客、交流人口を増加させ、観光、商業、農業の振興を図ります。 ○山岳高原観光の環境整備・拠点づくり ○インバウンドの推進 ○農業と連携した滞在型観光の推進	中央アルプス県立公園の公園計画の見直しと国定公園指定に向けた調査、登山道など山岳高原環境の整備については、下記の事業の中で対応します。 ・魅力ある自然公園づくり事業 <17,409> ・山岳環境整備推進事業 <9,607> ・民間との協働による山岳環境保全事業 <830> また、インバウンドの推進のための観光情報の発信やメディアトリップについては、下記の事業の中で対応します。 ・海外に向けた「NAGANO」発信力強化事業 <5,670> ・戦略的な外国人旅行者の誘致推進事業 <37,715> なお、農業体験などの地域資源を活用した滞在型観光については、下記の事業により対応します。 新 ・テーマ別ツーリズム振興事業 <18,000>	環境部 自然保護課 観光部 国際観光推進室 観光誘客課
下伊那	南信州竹取再生物語	放置竹林の整備(間伐)・維持管理体制を構築し、南信州産たけのこの生産・流通・消費体制を確立することにより、地域を代表する林産物に育てます。	放置竹林の整備や維持管理体制の構築については、下記の事業の中で対応します。 ・森林(もり)の里親促進事業 <1,240> ・里山活用推進リーダー育成事業 <3,000>	林務部 信州の木活用課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
木 曾	安全な山岳利用 へ向けた火山防 災対策	御嶽山噴火災害を契機とした火山防災対策の検証を踏まえ、防災関係者の連携強化や登山客への情報提供促進により危機管理体制の充実を図り、安全な山岳利用を推進します。 ○火山防災協議会の活動充実 ○県内の火山に関する総合的な情報サイトの構築等 火山防災体制の整備	※ 新 は新規事業 ※< >内は平成 28 年度当初予算案又は平成 27 年度 2 月補正予算案 (国補正対応分) 計上額 (単位: 千円) 火山防災協議会が策定することとされている、火山ハザードマップ等の作成支援については、下記の事業により対応します。 新 ・火山ハザードマップ等作成支援事業 <20,000> また、火山防災協議会連絡会の設立、山小屋の強化等火山防災体制の整備については、下記の事業により対応します。 新 ・長野県火山防災連絡会議開催事業 <625> 新 ・活火山登山者安全対策設備整備事業 <2,732>	危機管理部 危機管理防災課 観光部 山岳高原観光課
松 本	松枯れ危険木の 除去事業	県民の安全・安心な生活基盤を確保するため、倒木の危険性が高い枯損木対策について、ライフライン関係者が一体となった取組を促進します。 ○地域ライフライン等保全協議会の設置 ○市町村が行う危険木伐採処理への支援 ○松くい虫被害対策・予防に関する講習会の開催	ライフライン関係者との連携組織については、NEXCO 東日本と引き続き協議するなど、設置に向けた取組を進めます。 また、危険木伐採処理への支援については、下記の事業の中で対応します。 ・信州の森林づくり事業 (県単) <5,000> なお、松くい虫被害対策等に関する講習会については、森林保護専門員による取組を引き続き推進します。	林務部 森林づくり推進課
松 本	「地域材の販路 をつくる」マー ケティング事業	先進的な取組が進む大規模製材工場による加工流通に加え、小規模製材工場の特色ある地域材製品の普及啓発を支援し、県産材利用の底上げを図ります。 ○地域材利活用ネットワーク連絡協議会の設置 ○首都圏等での大規模商談会への出展、銀座NAGANO等での普及啓発活動等	地域材利活用ネットワーク連絡協議会の設置については、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう、助言・情報提供を行います。 また、首都圏等でのPRについては、信州木材認証製品センターと合同での実施が可能な下記の事業の中で対応します。 ・信州の木と住まいの総合対策事業 (信州木の家県産材利用推進事業) <1,400>	林務部 県産材利用推進室
北安曇	大北酒米プロジ ェクトの推進	酒米「美山錦」の県内生産量の約4割を占める大北地域において、酒蔵のニーズに応えるとともに、農家所得の維持向上に向けて、酒米の玄米品質向上による契約栽培拡大への取組を推進します。 ○酒米「美山錦」の生育・品質調査 ○日本酒の消費拡大に向けたシンポジウムの開催	「美山錦」の生育・品質調査については、農業改良普及センターの普及活動で対応します。 また、日本酒の消費拡大に向けたシンポジウムについては、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう、助言・情報提供を行います。	農政部 農業技術課 農産物マーケティング室 観光部 信州ブランド推進室 産業労働部 ものづくり振興課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
北安曇	新たな自治体間連携 大北地域からの挑戦!!	<p>国の定住自立圏構想や連携中枢都市圏構想の要件に該当しない大北地域に対し、新たな自治体間の連携スキームへの県独自の支援制度を創設します。</p> <p>○財政的支援 ○人的支援</p>	<p>※新は新規事業 ※〈 〉内は平成 28 年度当初予算案又は平成 27 年度 2 月補正予算案 (国補正対応分) 計上額 (単位: 千円)</p> <p>広域連携に対する国の支援制度が適用されない地域への支援については、下記の事業により対応します。</p> <p>新・市町村の広域連携推進事業 <10,000></p>	企画振興部 市町村課
長 野	新規就農者の確保と定着を加速化させる方策について	<p>新規就農者の確保と定着を加速させるための就農条件整備などを進めます。</p> <p>○新規就農里親支援事業における里親農業者の登録要件緩和 (J A 出資法人や生産者部会にまで拡大) ○新規就農者用の樹園地整備を推進するため県単事業の補助上限額を引き上げ ○市町村等により整備された遊休倉庫等を活用した農作業小屋への賃料補助制度の創設</p>	<p>新規就農を希望する研修生を「産地」で受け入れる体制を整備することは、就農後の定着や経営発展にとって重要なことと考えますので、J A 出資法人が研修体制を整え里親登録するよう検討してください。</p> <p>また、新規就農者の確保を対象とした樹園地整備推進にかかる補助上限額については、当該事業に対する要望が非常に多いことから設けているものであり、新規就農者以外の者に対する補助との公平性の観点からも現行の仕組みの中で事業活用を検討してください。</p> <p>なお、農作業小屋等の整備については、地域の関係者の主体的な取組により整備されることが望ましいと考えます。</p>	農政部 農村振興課 園芸畜産課
北 信	信越自然郷の観光振興のための環境づくり	<p>北陸新幹線飯山駅の開業効果を当地域全体の観光振興、産業振興等に結びつけるため、信越 9 市町村広域観光連携会議等と連携した地域づくりを推進します。</p> <p>○飯山駅二次交通インフォメーション強化事業 ○多言語通訳クラウドサービス整備事業 ○信越自然郷「食」の魅力発信事業</p>	<p>飯山駅二次交通インフォメーション強化、多言語通訳クラウドサービスについては、市町村が主体となり実施する予定です。</p> <p>また、信越自然郷の食の魅力発信については、下記の事業の中で対応します。</p> <p>・「おいしい信州ふード (風土)」プロジェクト推進事業 <10,278></p>	観光部 山岳高原観光課 農政部 農産物マーケティング室